

FavorPrep™ Tissue Genomic DNA Extraction HE Mini Kit

Cat. No. : FATG1030 (4 回分) / FATG1033 (50 回分) / FATG1034 (100 回分)

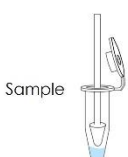
本製品は研究用です ver. 202505

● キットの内容

	FATG1030 (FATG103-004)	FATG1033	FATG1034 (FATG103-100)
	(4 preps)	(50 preps)	(100 preps)
FATG1 Buffer	1.5 ml	20 ml	40 ml
FATG2 Buffer (Concentrate)*	1.5 ml	20 ml	40 ml
W1 Buffer (Concentrate)*	1.3 ml × 2	22 ml	44 ml
Elution Buffer	0.5 ml	5 ml	7 ml
Proteinase K (Liquid)	150 μl	1600 μl	1600 μl × 2
HE Columns	4 pcs	50 pcs	50 pcs × 2
HE Collection Tubes	8 pcs	100 pcs	100 pcs × 2
Elution Tubes	4 pcs	50 pcs	100 pcs
Micropestles	4 pcs	50 pcs	50 pcs × 2
*添加する 96~100%エタノール量			
FATG2 Buffer	1.5 ml	20 ml	40 ml
W1 Buffer	0.5 ml	8 ml	16 ml

● 基本情報

構成	スピンカラム (シリカメンブレン)
結合量	≤125 μg DNA/column
所要時間	<45 分
サンプル量	≤30 mg 組織
収量	≤30 μg
溶出量	30 μl



- Cut the tissue (up to 30 mg) into a 1.5 ml tube.
- Grind sample with 360 μl FATG1-PK mixture using micropestle or homogenizer.
- (Optional) Add RNase A, incubate sample at room temperature for 2 mins.
- Incubation at 56 °C for 10 mins.



- Add 660 μl FATG2 Buffer (ethanol contained).
- Mix thoroughly by pulse-vortexing.



HE Column

- Transfer all the mixture into HE Column for DNA binding.

Centrifuge 12,000 xg, 1 min



- Add 500 μl W1 Buffer (ethanol contained).

Centrifuge 12,000 xg, 1 min



- Add 500 μl ethanol (96~100%) and dry the column membrane.

Centrifuge 12,000 xg, 2 mins



- Add 30 μl Elution Buffer.
- Stand the column for 5 mins.
- Obtain purified genomic DNA.

Centrifuge 12,000 xg, 2 mins

● 重要事項

1. エタノール (96~100%) と RNase A (オプション) を用意してください。
2. 本キットの構成は、室温 (15~25℃) で保管してください。
3. FATG2 Buffer と W1 Buffer に指示された量のエタノール (96~100%) を加えてよく混和し、室温で保管してください。
4. <オプション> DNA の長期保管には、組織サンプルを FaverPrep™ NApreserve Reagent に浸してください。
5. FATG1 Buffer に沈殿物が見られる場合、37℃ で沈殿物が溶解するまで温めてください。
6. 操作を始める前に、ドライバスまたはウォーターバスを 56℃ に予熱してください。
また、溶出ステップでは Elution Buffer を 56℃ に予熱してから使用してください
7. 遠心分離は、すべて室温で 12,000 × g で行ってください。
8. FATG1-PK 混合液を新鮮な状態で使用するため、DNA 抽出を行う前に、330 μl の FATG1 Buffer と 30 μl の Proteinase K と 8 μl の 50 mg/ml RNase A (オプション、RNA-free genomic DNA を抽出する場合) を混和してください。

● 操作 ※操作前に「重要事項」をよくお読みください。

1. 最大 30 mg の組織サンプルを遠心チューブ (非付属品) に入れ、360 μl の FATG1-PK 混合液を加えます。
2. Micropestle (付属品) またはホモジナイザーでサンプルを粉砕します。十分に混和し、スピンドウンします。
3. <オプション> RNA-free genomic DNA を抽出する場合
RNase A を加えた場合、を室温で 2 分間インキュベートします。
4. 完全に溶解するまで、56℃ で 10 分間インキュベートします。インキュベート中は時々ボルテックスします。
5. 660 μl の FATG2 Buffer (エタノール添加) を加え、パルスボルテックスで十分に混和します。
6. HE Column を HE Collection Tube に取り付け、すべての混合液を慎重に移します。
7. 1 分間遠心分離します。ろ液を捨て、HE Column を新しい HE Collection Tube に取り付けます。
8. 500 μl の W1 Buffer (エタノール添加) を加えます。1 分間遠心分離し、ろ液を捨てます。
9. 500 μl のエタノールを加えます。2 分間遠心分離し、ろ液と HE Collection Tube を捨てます。
10. HE Column を Elution Tube に取り付けます。30 μl の予熱した Elution Buffer または ddH₂O (pH 7.5~9.0) をメンブレンに直接加え、5 分間静置する。
重要！ 効率よく溶出させるため、Elution Buffer または ddH₂O はメンブレンの中央に加え、完全に吸着させてください。
11. 2 分間遠心分離し、DNA を溶出します。